

平成23年度上期 電力需給状況

需要の概要

平成23年度上期の販売電力量は、142億1千万kWh時、前年比 96.8%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、昨年の猛暑による需要増の反動に加え、東日本大震災以降の全国的な節電意識の高まりなどから、前年比 95.0%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、「電灯」と同様、気温要因や節電の影響などから、前年比 95.3%となった。

産業用の「大口電力」は、生産活動の持ち直しの動きに一服感がみられることなどから、ほぼ横ばいの前年比 100.7%となった。

需要実績

(百万kWh時、%)

		電力量	前年比
特定規模需要以外の需要	電 灯	4,619	95.0
	電 力	931	93.1
	計	5,550	94.6
特定規模需要(自由化対象)	業務用電力	3,322	95.3
	産業用電力	5,338	100.1
	うち大口電力	(4,166)	(100.7)
計		8,660	98.2
販売電力量 計		14,210	96.8
融 通		3,044	120.3

注：特定規模需要は、特別高圧電力および高圧電力の合計。

大口電力の主な産業別内訳

(百万kWh時、%)

	電力量	前年比		
		23 / 上	22 / 下	22 / 上
織 維	183	93.1	112.6	124.3
紙・パルプ	791	103.5	103.0	104.3
化 学	602	97.1	100.9	110.2
鉄 鋼	440	101.4	108.6	119.9
機 械	957	101.0	111.9	113.6
そ の 他	1,193	101.4	104.9	108.1
合 計	4,166	100.7	106.1	110.7

供給の概要

- 原子力は、伊方3号機の運転再開遅れによる稼働減などにより、前年比 68.2%となった。
- 水力は、前期末から当期末の渇水の影響により、貯水池式水力の発電量が減少したことなどから、前年比 94.5%となった。
- これらの結果、火力は前年比 129.2%となった。

供給実績

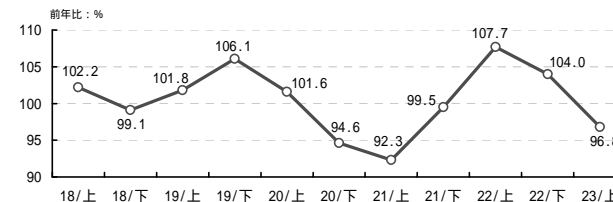
(百万kWh時、%)

		電力量	前年比	備 考
原子力	(28)	5,266	68.2	出水率 108.8% (22年度上期出水率 102.4%)
水 力	(12)	2,257	94.5	
火 力	(59)	11,093	129.2	
新工ネ	(1)	237	114.0	
発受電計	(100)	18,853	99.7	
その他		95		
供 給 計		18,758	100.0	

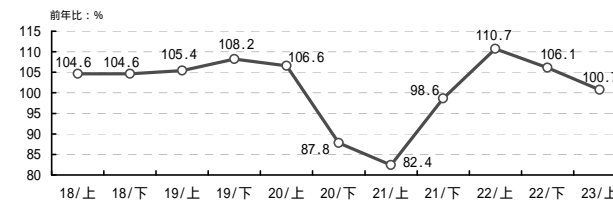
注1. 新工ネにはバイオマス(48百万kWh時)を含む 注2.()内は構成比

注3. 四捨五入の関係で、合計が合わないことがある

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



(参考2) 大口電力の前年比の推移



(参考3) 4県都平均気温

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実 績	8.4	14.1	19.6	23.7	27.1	28.3	25.0
平年差	0.9	0.8	0.3	0.9	0.3	0.5	0.5
前年差	1.7	0.4	0.7	0.3	0.1	1.4	1.4

(参考4) 各県別の需要状況

(百万kWh時、%)

	徳 島	高 知	愛 媛	香 川
販売電力量計	(97.5)	(95.7)	(96.8)	(96.7)
	3,167	2,321	4,948	3,774

注：()内は前年比